

## 専業主婦

JJ1SXA/池

妹のFace Bookに以下の記述があった。

…引用…

#SAHM=主婦？=stay-at-home-mom

ネット上では(専業)主婦を上記の短縮形で表現するらしい。

疎遠になっていた米の友人を検索したら亡くなっていて“homemaker”と職業欄に記載があった。

英国ではhousewifeと言う。

SAHMは裕福で(洗濯物の片付けやトイレ掃除もしない)しかし、素敵なお料理を時間をかけて作り、インスタにあげたりして優雅に暮らすママ？

米式は暖かい家庭を作るイメージがあり、英国式はhousemaidばりの家政婦的な感覚だ。

仕事も持つ私の職業は主婦とは言えないが、立ち位置としてはただただhousewife 感が漂う。 Written by Fumi…引用終り…

ちなみに、妹はイギリス人と結婚、娘が一人いるが、永い事、浅草で英会話教室を夫婦で経営している、現在は、娘(姪)も既婚で男の子供がいる。

妹家族の、古き良き時代の一枚



左より、妹、義弟、姪(未婚の頃)

本題は、「SAHM」だ、「SAHM」を「英辞郎」で調べたら、「専業主婦」と出ていた、ネット上では(専業)主婦を上記の短縮形で表現…というのは正しいようだ。

では、「主婦」とは、夫婦において、夫が経済的に支えている状態において、家事全般が仕事となる女性を指して使われる言葉で、男女が逆だというケースも近年では珍しくなく、その場合には男性となり、「主夫」と表現されますと、NETでは出ていた。

更に、専業主婦とはどんなものだと調べたら、以下のような記述があった。  
…稼得労働に従事せず、専ら家事や子育てなど無償の再生産労働に従事する既婚女性。

18世紀の英国で、産業革命以後、男性が家を離れて長時間労働に従事するようになり、「夫は外、妻は内」という近代の性役割分業意識の成立と共に出現した。

欧米では20世紀に一般化し、英国では既婚女性の8割(1930年頃)に達した、日本では高度成長期にサラリーマンの増加と共に増え、75年頃には既婚女性の約6割が専業主婦となる。

専業主婦は、「夫の収入に自分の生活水準が連動する存在」であるため、夫の収入が安定し増大している時には、安心して生活を送ることができる、だが、90年代に入ると男性の失業率は高まり、収入も不安定化している、離婚も増える中、安心して専業主婦を続けるのは難しくなりつつある。…

と、あった。

時に、「三食・昼寝付き」などと揶揄する言葉もあるが、どうしてどうして主婦は大変な仕事だ、育児などは大仕事だ！！

我が家では、家事の分担は、掃除・洗濯・食事の後片付けが私の役目、だが、膝、腰が痛いのを理由に、風呂・トイレの掃除はやらない、Xの役割だ、その他、食事の準備(調理)もXの役割、というわけで、家事の負担は均等のつもりだが、Xは均等では無い、7:3位だと言う、本当の所はどうなんだろうか、まあ、いずれにしろ、我が家には「専業主婦」や、「専業主夫」は居ないということです、恥ずかしながら我が家の家庭事情の暴露でした。

交通事故で怪我をして働けなくても、その昔は、専業主婦は無収入と扱われていたが、今は見直されて、その労働は経済的価値が認められるということで「家事従事者」という名目で「休業損害」を請求することができるようになった。

自賠責保険の基準による場合には、一律で1日5,700円分の請求ができますが、弁護士に依頼する弁護士・裁判基準による場合には自賠責基準以上の休業損害を請求することが可能になっている。

1日5,700円でも30日分は、171,000円、年収(365日分)は2,080,500円だ、事故の補償金は非課税だが、課税対象となる年収以上だ。(2022年5月記)